

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

8月号 2020. 8. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

千葉骨髓バンク推進連絡会（千葉の会）設立 30 周年を迎えて

千葉の会は 1991 年 2 月 24 日に設立され、今年度設立 30 周年を迎えます。設立に当たっては、埼玉骨髓バンク推進連絡会のご支援を受けたと聞いています。久しぶりに当時の書類を保管した書棚からファイルを取り出し、その頃の活動状況を懐かしく見返しました。設立後は毎月 1 回千葉大学医学部のカンファレンスルームで定例会を開催してまいりました。同年 5 月 18 日に第 1 回総会を開き、正式に役員を決め、規約を制定し、会を正式に発足しています。総会の議事録をみると会員数は 34 名、会長君塚甚一氏、副会長円東克典氏、会計浜田千恵氏、事務局小松薫氏、監事鳥羽敏信氏、星野成司氏とありました。当時の会員で現在会に残っているのは円東さんだけです。

当時、日本には公的骨髓バンクがなかったため、設立を目的に全国のボランティア団体（13 団体）が前年の 90 年 6 月 24 日に全国骨髓バンク推進連絡協議会（全国協議会）を立ち上げました。千葉の会は全国協議会に 91 年 6 月 9 日に加盟し、他団体と共に「公的骨髓バンク早期実現を求める請願書」署名（衆参両院議長宛 48,000 名）を集め、同年 9 月 27 日に厚生省に提出しました。

一方、千葉の会は茂原（同年 8 月 18 日）、松戸（同年 11 月 17 日）で「骨髓バンクシンポジウム」を開催し、講演会「血液疾患と骨髓移植について」、患者・家族からの訴え、ドナー（血縁骨髓提供）体験談を行い県民、市民の皆様へ骨髓移植の知識を深めて頂き、公的骨髓バンクの設立を訴えました。このシンポジウムは、マスコミで大きく報道されました。ところで私は、円東さんと同じ会社に勤めていた関係で、円東さんが「公的骨髓バンクを作りたい。このため茂原でシンポジウムを開催すべく準備をしている。」と聞き、シンポジウムに参加したことがきっかけで同年 8 月に千葉の会の会員になりました。と言うことで、会の設立から 5 ヶ月間の活動については、資料で知るのみです。私はその後翌 92 年 5 月 9 日の第 2 回総会で副会長に、そして 95 年 4 月 8 日の第 5 回総会で会長に就任して、以降現在まで会長を務めています。

千葉の会、全国のボランティア団体、全国協議会の努力が実り、91 年 12 月 18 日に財団法人骨髓移植推進財団（財団、現日本骨髓バンク）が設立され、公的骨髓バンク事業を開始しました。これで会発足時の目的は達成されたのですが、以後は会の目的を「財団が順調にスタートできるように支援する」ことに変え、今現在は「白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や、ドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行う」ことを目的に活動を継続しています。

財団設立後の千葉の会活動記録を見てみると 92 年 2 月 2 日に船橋市で、3 月 1 日に千葉市でそれぞれ「骨髓バンクを知る市民の集い」を開催しました。集いでは、パネラーに移植医師、患者さん、血縁骨髓提供者、財団職員、ボランティアを招き、市民の皆様へ骨髓バンクについて知識を深めて頂きました。以降集いは何回か各市で開催してきました。サンクト・フローリアンによる「ピアノ三重奏の夕べ」は、92 年 11 月 28 日に千葉市民会館で開催したのが第 1 回です。以後色々変遷があり、現在は成田市文化芸術センターで毎年「骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会」として開催しています。その他いろいろパワフルな活動を行い、設立初期の思い出はつきません。

あつという間の 30 年間と感じています。活動内容も最近は献血併行登録会の開催、ドナー助成金制度・休暇制度導入活動、ケア帽子・マスク製作等に力点が移ってきていますが、30 年も継続できたのは各時期を支えてくれた会員の皆様、千葉県業務課、千葉県赤十字血液センター、日本骨髓バンクの皆様、全国協議会と全国の仲間、他多くの皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。今年は思いもよらぬ新型コロナウイルスのため、企画していた 30 周年記念医療講演会やコンサートと落語会は中止となり、献血併行登録会等活動にも大きな制限が出ています。一日も早く収束し、またいつも通りの活動ができることを祈念しています。（千葉の会会長 梅田正造）

医療講演会（船橋市中央公民館）中止のお知らせ 9月26日（土）

当会では設立 30 周年を記念して、再生つばさの会（再生不良性貧血の患者会）と協同で、血液疾患治療、造血幹細胞移植治療、再生不良性貧血治療などの最新情報を患者さんとその家族の皆様などにお届けし、ご支援の一助とするため、医療講演会を企画しておりました。9月26日（土）船橋市中央公民館で開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの第2波の懸念も報道されており、3密回避の観点から対応を検討しましたが、困難なことが分かりました。

また、参加者は患者さんが多いと予想され、さらに慎重さが要求されると判断し、関係者と協議の結果、残念ですが中止と決定致しました。船橋市との共催で講師の先生、講演テーマも決まっておりましたが、参加者の安全を最優先とし、安全な時期が参りましたら、開催することに致しました。その際はどうぞよろしく願ひ申し上げます。（実行委員長 溝口理文）

「ちばアクアラインマラソン 2020」での普及啓発活動中止のお知らせ 10月18日（日）

千葉の会では千葉県業務課のご支援を受け 2012 年から開催されたちばアクアラインマラソンの会場で骨髓バンクの普及啓発活動をさせて頂き、沿道で選手の応援をしてまいりました。同大会は 2 年毎に開催され今年で 5 回目となり、昨年発生した自然災害からの復旧・復興に向け「元気な千葉」を発信する大会と位置づけ 10 月 18 日（日）に開催予定でした。しかし新型コロナウイルスが収束しない現状から残念ながら中止になり、普及啓発活動もなくなりましたので、お知らせします。

「コンサートと落語会」（成田市文化芸術センター）中止のお知らせ 11月21日（土）

皆様もご存知のように新型コロナウイルスの影響はいまだに克服されておりません。当会も例外ではなく、本行事について定例会で検討を重ねた結果下記を考慮し中止を決定しました。

1. この秋から冬にかけて第 2 波が予想されること。
2. 開催できても、各種制約を受け座席の半減やマスク、消毒等の予防対策を要する。これでは本来目的のチャリティにはならず、赤字に陥る可能性が大。
3. 当会の会員も含め参加者も年齢層が高くリスクが大きい。
4. 例年ご協力頂いている団体や企業様のご支援を得ることが現下では難しい。

■毎年ご支援頂いている皆様へ感謝を申し上げますとともに、来年開催へのご協力をお願いします。（実行委員長 円東克典）



登録会報告

千葉の会の新型コロナウイルス禍での献血併行登録会対応

千葉の会では、白血病等の患者さん支援のドナー（特に若年層）増を図るため献血併行登録会開催に力を入れています。19年度の千葉の会が調整し、説明員を派遣した登録会は369回（登録者1,522名）に上ります。20年度は、400回開催を目指していましたが、1月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、日本中に蔓延することとなり、千葉県では4月7日（火）に緊急事態宣言が発令され、4月の登録会は2回だけで残りは全て中止となりました。この千葉県の宣言は5月25日（月）に解除されましたが、登録会は5月、6月ともゼロで、7月にやっと献血ルーム4会場での登録会が再開されることとなりました。

新型コロナウイルスで献血者が激減しているとのことなので、私は最近月2回献血ルームで成分献血をしています。そこで見た献血ルームの献血者に対する新型コロナウイルス感染防止対策は、以下の通りです。ルームに入ったら①消毒液があり、自分で手を消毒。②日赤献血受付者が額に体温計をかざし検温をしてくれる。③献血者はマスク着用。していないとするよう注意される。ルーム内は④献血ルームのいたるところに消毒液が置いてある。⑤受付、先生の間診、看護師による血液検査のための採血の各場所には垂れ下がったビニールシートがありガードされている。⑥日赤職員、先生は全員普通のマスク着用。フェイスシールドの着用はない。⑦献血者同士が3密にならないよう、待合兼休憩室、検査待ちの椅子は、間隔があくようにしている。⑧ルームのいたるところの扉が開いていて空気を入れ替えている。⑨一部のルームでは登録会会場の机に透明の衝立が設置されている。

このようなルーム環境の中での献血併行登録会再開に当たり、日赤の登録会調整者に千葉の会として、新たに用意するものはありますか？と確認したところ、特にはないが、3密にならないよう、説明員は原則一人で、説明はできるだけ短め（15分程度）になるよう注意くださいとのことでした。千葉の会としては更に以下の対応を図っています。①朝の検温。②マスク着用。③消毒液を用意して一人の説明が終わったら机等の消毒。④説明会場の扉を開放し、換気に努める。⑤フェイスシールドの用意。⑥説明会当日に説明員本人または家族が体調不良（発熱、咳、匂いや味の感覚がない等）になった場合の連絡網整備と周知徹底。

8月からは移動献血バスによる自治体、モール等での登録会も復活の予定ではありますが、昨今の日本全体の感染者数の増加傾向を見ると予断は許しません。何れにしてもどの会場においても、感染防止を図ることを最大の注意点として、対応して参ります。一日も早く新型コロナウイルスが収束し、日本各地で安心して献血併行登録会が開催できるようになることを祈っています。（梅田正造）



20.7.18 柏献血ルームでの登録会

モノレールちば駅献血ルーム 7月9日（木） 説明員 北村美和子

登録者1名、説明者5名の結果でした。3ヶ月ぶりに登録会が再開しました。財団の「公式LINE お友だち登録のおねがい」をコピーし封筒に入れて渡せるよう用意しました。ルームの登録テーブルにはクリア衝立を設置して下さって、手指消毒エタノールも用意されていました。許可を頂き、来場者にロッカー付近でギフトオブライフを渡しながらか声掛けしました。ルーム内は予約の方中心で、密にならないよう進められていました。登録された男性は声掛けした際に快諾されて、登録となりました。献血終了後に説明を聞きたい、登録したいと言う方が2名来られ、説明後チャンスをお渡ししたら次回の献血時に登録しますとの事でした。



津田沼献血ルーム 7月16日（木） 説明員 西島一恵

登録者3名、説明者3名の結果でした。ルーム内はすっきりとしていて、新型コロナウイルス対策として余分なものは置かないことにしたそうです。閲覧本も取り出せないようにしてありました。そんな中、ケア帽子は置いてくださっていて、ナースキティのマスクも置かせていただきました。献血者は予約が多く、朝開店から並んでいました。その波が過ぎるとお昼まで閑散という状態。クリア衝立、除菌ナプキンが用意されていました。フェイスシールドを持参し、一日付けていましたがメガネの取り外しがしにくく、マスクにメガネ、シールドとなかなか大変でした。冷房が効いていて寒いくらいでしたので我慢できましたが、暑かったら耐えられないですね。既登録者で転勤転居後に、提供依頼が来たという方が来られました。その時は提供を保留し、その後千葉へ戻ったが、保留のままで連絡がないとのことだったので、データセンターへ問い合わせる様お話ししました。



登録会報告(会場)	7月	登録者数(人)	説明受講者数(人)	説明員
モノレールちば駅献血ルーム	9日(木)	1	5	北村美和子
津田沼献血ルーム	16日(木)	3	3	西島一恵
柏献血ルーム	18日(土)	6	4	戸辺信晴 柴谷みち子
松戸献血ルーム	20日(月)	ルーム都合にて中止		戸辺信晴
船橋献血ルームフェイス	21日(火)	4	2	西島隆史
7月 合計		14	14	

5月、6月の登録会は新型コロナウイルスのため開催されませんでした。

ボランティア・会員募集

ボランティアとして出ることが色々あります。骨髄バンク=登録だけではありません。何かやってみたくなったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで

ハンドブック「白血病と言われたら」のご紹介

全国骨髄バンク推進連絡協議会では、設立30周年記念行事として、病初期の患者さんとご家族向けのハンドブック「白血病と言われたら」の第6版を5月30日に発行しました。上巻と下巻の構成になっています。下記から無料ダウンロードができます。
<https://www.marrow.or.jp/patient/handbook.html>



上巻「白血病と闘おう」
これから白血病と闘うために必要な情報を多岐にわたり掲載
A4サイズ 188ページ フルカラー

下巻「血液の病気を知らう」
血液の病気についてさらに詳細な解説や治療法について掲載
A4サイズ 264ページ フルカラー

ダウンロードの方法は2つあります。
選択してクリックしてください

成田山新勝寺様のご支援を得て毎年11月に成田市で開催している「骨髄バンクチャリティ コンサートと落語会」に毎年ご夫妻で来て下さっている市原市在住の内田正成様が、成田山公園で開催された今年の梅まつり(2/15日~3/1日)の「観梅の投句コンテスト」に応募され、見事秀句10句に選ばれJR成田駅長賞を受賞されました。大変嬉しく、寄稿をお願いしました。

(梅田正造)

俳句と私

私は俳句を始めたのは10年前ですが、当時千葉のふるさと文化大学校に在籍しておりました。県外出身者の私にとって第2のふるさとである千葉県を主体とした授業は魅力的でしたが、もう少し能動的に何かする事も必要と思いつくクラブ活動の中から俳句を選びました。以後10年間、句会は月に1回、吟行は年に2回位参加しております。私の自己診断ですが、俳句の出来は今回の様な表彰句も有れば30点句は山ほど有りが実態です。

実は投句コンテストに行く前に、何かヒントはないかなと成田山や梅祭りのパンフレットを見ましたら「千葉骨髄バンク」のプログラムに「御護摩修行」の活字に目が止りました。梅の爽やかな香りが御護摩をされている本堂にも漂い、皆様の願いが成就される様に祈禱されている光景が浮かび上がりました。

うめ か おごま こころ かぜ
梅が香や 御護摩の心 風にのせ

上記の御護摩修行の見学体験がこの度の入賞に繋がりに難う御座いました。(内田正成)



県内市町村のドナー助成制度の導入状況

千葉県内市町村のドナー助成制度の導入推進のため千葉の会では、県や、議員の先生方などに支援をお願いする他、市町村の施設で開催される献血併行登録会の会場で担当課長や担当者に導入のお願いを続けて参りました。この結果令和元年度末で54市町村中37市町村で導入され導入率は69%になりました。

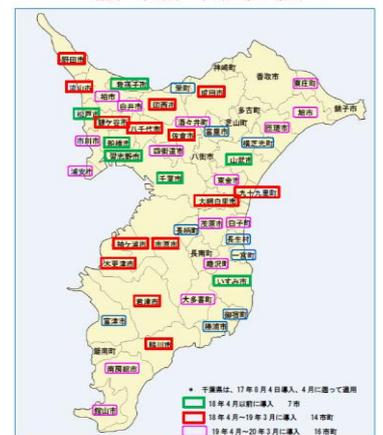
令和2年度に入ってから新たに長生村、富津市、御宿町、富里市、長柄町、勝浦市、栄町、一宮町、横芝光町の9市町村で導入され導入率は85%になり、未導入の市町村は、香取市、八街市、銚子市、芝山町、神崎町、多古町、長南町、鋸南町の8つ迄になりました。全市町村での導入を実現するため、今後も活動を継続します。(梅田正造)

関東7都県の骨髄バンクドナー助成制度導入状況

	市町村数	ドナー助成制度 導入数	導入率 (%)	令和2年7月15日現在 県の補助制度導入時期
1 埼玉県	63	全市町村	100	平成26年度から
1 群馬県	35	全市町村	100	平成28年度から
3 栃木県	25	23	92	平成29年度から
4 千葉県	54	46	85	平成29年度から
5 茨城県	44	36	82	平成28年度から
6 東京都	62(23区含む)	50	81	平成27年度から
7 神奈川県	33	20	61	平成30年度から

千葉県市町村 ドナー助成制度導入地図 20.7.15

20.7.15現在、54市町村中46市町村で導入 導入率85%



話題の医療ニュース ~造血細胞移植後の予後を左右する合併症対策~

前号に引き続き令和元年度AMED(日本医療研究開発機構)再生医療公開シンポジウムのポスター集から血液疾患治療に関係の深い記事を紹介いたします。造血細胞移植後の予後を左右する重要な因子として、GVHD(移植片が宿主を攻撃)と感染症が挙げられます。

まずGVHDですが、東大医科研の長村登紀子先生の同種臍帯由来間葉系細胞を用いた治験の報告がありました。GVHDには新規薬剤が開発されているものの、いまだ標準治療法はステロイドであり、ステロイド治療抵抗性の重症急性GVHDの長期生存率は10%と極めて不良です。そこで臍帯由来間葉系細胞(MSC)の抗炎症効果や組織修復能などを応用し、MSCを重症GVHDの患者さんに投与する第1相医師主導治験が18年7月から開始されました。現時点では、用量制限毒性を認めておらず、次の症例登録待ちの状況との報告でした。また、民間の会社に製品化のノウハウを移管してより多くの患者さんに提供できる体制にしていくこと、他の病気例えば新生児脳症などへの臨床応用の研究も進めたいとの記載もありました。早く実用化されることを期待します。

次は感染症対策ですが、これも有効な薬剤が無かったり、長期にわたる投与が必要であったり問題を抱えています。東京医科歯科大学の森尾友宏先生は複数ウィルス特異的T細胞療法を報告していました。私達の身体の中には、いろいろなウィルスの特異的T細胞が記憶T細胞として残っており、これを簡単にかつ短時間に増幅して、難治性感染症に用いる臨床研究を計画した。既に一部サイトメガロウィルス(CMV)感染症他に投与が始まっています。

現在、より安全な臨床試験実施に向けたプロトコル改訂を終了し、本試験に参加する症例数の増加を目指した活動を展開している状態です。HLA半合致以上の血縁ドナーから用意した特異的T細胞の臨床試験を終了したら、より多くの患者さんに投与できるように第三者由来の特異的T細胞に寄る臨床試験を開始したいと考えておられます。

また、数多くのウィルス、菌種にも用意が可能で、将来的には様々な難治性感染症に用いることができる可能性を秘めているとの報告でした。これについても早い実用化を期待します。(溝口理文)

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費 3,000円(学生1,000円)
振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会
郵便振込口座番号 00160-6-547168

郵便局以外の銀行ATMやインターネットバンキングでお手続きの場合は、次のとおり指定してください。
ゆうちょ銀行店名 ○一九(ゼロイチキュウ)、口座番号0547168

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

日本骨髄バンクと千葉県登録者数最新情報 (2020年6月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県(累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	527,482	-1,315	+8,634	17,972	-34	+906
累計患者登録者数	59,526	+371	+2,653	2,288	+19	+89
累計移植例数	24,477	+154	+1,163	780	+7	+30

ちょっといい漢字の話 (第1話) ~梅雨が明けたので君に会いたい~

ようやく梅雨も明け、夏空が広がる季節となってきました。
 梅といえば俳句では梅の花を指し初春の季語です。なぜ梅の雨と書くのか、少し不思議な感じがしますが、これは、梅の実が黄色く熟す時期の雨といわれています。
 しかし、もともと中国では霪雨(メイユウ)と呼ばれていました。霪菌の「ばい」、カビを意味する字です。カビが生える時期の雨とは語感が悪く、読み替えたと言われていました。漢字を読み替えて縁起を担ぐほかにも、米寿(「米」→「八十八」)など漢字を分解して楽しんだりもします。昔から「恋(戀)」を「いと(糸)し、いと(糸)し」という心、「桜(櫻)」を「二階(貝貝)の女が気(木)にかかる」といったりします。
 最近「君」の字はコロナで出来ていると話題です。霪の雨は無事明けたので、さわやかな気分です。「コロナではなく君に会いたい」ですね。(漢字教育士/萩原匡祐)



針が刺さるフェイスより

こいこいの 宇宙と地球の随想記 4th シーズン「化石の巻」

第3回 酸素の生成 ~その昔、酸素はなかった~

酸素がないと生物は生きていけない…そう思っている方はいませんか？ しかし、生物が誕生した当時の地球大気に酸素は存在せず、その後数億年以上も生物は酸素のない環境で進化を続けてきたのです。
 はるか昔の地球大気は二酸化炭素が主成分で、海中の生物は嫌気呼吸といって酸素と関係ないやり方でエネルギーを作り出していました。それが今から約 27 億年前、ラン藻の仲間であるシアノバクテリアという生物(温泉や沼のドロドロした緑色の藻の一種)が二酸化炭素と光を使って有機物をつくる光合成を始め、その副産物として酸素が吐き出されるようになり、さらにその酸素を使って呼吸をする生物が現れました。海水中の酸素はやがて大気に広がって、現在の地球大気のできたのです。
 “母なる地球”とよく言われますが、地球と生物は互いに影響を及ぼし合いながら変化してきました。現代の地球では、人類の影響によってその大気組成が次第に変化しています。これまで何十億年にも及ぶ営みの中で作り上げられてきた大切な「空気」。子供たちのため、また他の生き物のためにも大切にしたいものです。(H.K.)

今後(8~9月)の予定

ドナー登録会

- 山武市成東保健福祉センター 8月4日(火)
- 鴨川市役所 8月5日(水)
- モノレールちば駅献血ルーム 8月6日(木)
- 千葉県庁 8月11日(火)~13日(木)
- 富津市役所 8月13日(木)
- イオンモール木更津 8月14日(金)~16日(日)
- 津田沼献血ルーム 8月14日(金)
- 大網白里市保健文化センター 8月20日(木)
- ユニモちはら台 8月23日(日)
- 船橋市役所 8月24日(月)
- 長生村保健センター 8月24日(月)
- 四街道市役所 8月25日(火)
- 松戸献血ルーム 8月26日(水)
- 袖ヶ浦市保健センター 8月27日(木)
- 柏市役所 8月28日(金)
- 船橋献血ルームフェイス 8月28日(金)

定例会

9月6日(日) 14時からZOOM会議

こころからのご寄付、ありがとうございます。

- 円東克典様 10,000円
- 匿名 20,000円
- 岡野ふさ子様 3,000円
- 大栄ライオンズクラブ様 10,000円
- 吉川優子様 2,000円
- 小俣和雄様 2,000円
- 匿名 2,000円
- 仲眞悟様 切手 14,452円
- 沖本由理様 切手 14,926円
- 佐藤勲様(大栄ライオンズクラブ) 切手 9,870円

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

新型コロナウイルスの感染防止対応で暫く休止していましたが、6月13日(土)から再開しました。当面の間は、下記日程で相談を受け付けます。

毎月第2、4土曜日の10:00-16:00に
 血液専門医が相談に応じます。
 (認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

<編集後記>

緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルスは収束せず、まだまだ拡散しています。こんな中、7月から献血ルームで献血併行登録会が万全の感染防止対策を取って再開されました。8月からは県庁、市役所・センター、モールでも行います。一日も早く収束することを祈りつつ登録会で説明を行います。(梅田正造)